

兵高教組

調査情報

2013年10月10日 25号

兵庫県高等学校教職員組合調査部

TEL : 078-341-6745

FAX : 078-351-3185

URL : <http://www.hyogo-kokyoso.com>

mail : honbu@hyogo-kokyoso.com

「高校無償化」への所得制限導入を許さない お金の心配なく学校へ通いたい 願いをハガキに書いて

政府は2014年度から「高校無償化」に所得制限を導入しようとしています。所得制限の導入は、生徒間に格差をつくることとなります。日本政府が留保撤回した国際人権規約の趣旨にも反します。さらに事務手続き上の負担も増大します。「ハガキ」に意見を書いてもらって本部から送付します。所得制限導入を阻止する運動にご協力ください。

高校授業料無償化とは...

2010年4月、公立高校の授業料（11万8800円）をとらないことと、私立高校に同額を補助することをあわせた「高校無償化」が始まりました。下にあるのが当時、文部科学省が全国に配布したリーフレットです。ここには、はっきりと「社会全体であなたの学びを支えます」と書いてあります。

ところが、自民党は「高校無償化」をバラマキだと批判し、安倍政権になって所得制限を入れようとしています。これに対し、全国知事会や教育関係団体、父母・国民から反対の声が上がりました。所得制限の導入については、10月中旬に始まる臨時国会で議論されます。

マスコミも東京新聞や西日本新聞などが社説で、「所得制限は教育の機会均等を損なう」と指摘しています。父母・国民、高校生の声を集め、所得制限導入NO!! の世論で導入をやめさせましょう。



所得制限導入は許されない

文部科学省は、来年度から「公立高校授業料無償化および私立高校などへの就学支援金制度（＝高校無償化）」に保護者の年収による所得制限を導入しようとしています。

「高校無償化」は、高校生の学びを社会全体で支えるというものです。無償化といいながら、高校では授業料以外にもお金がかかります。特に、私立高校では就学支援金は授業料の一部補助にとどまっています。こうしたことから、「高校無償化」は拡充することが求められています。

2013年 月 日

文部科学大臣 下村博文 様

「高校無償化」への所得制限導入に反対し 教育費無償化の前進を求める要請書

「お金の心配なく学校に通いたい」一高校生・保護者・教職員の願いと運動を受け、2010年春「高校無償化」がスタートしました。しかし、政府は2014年度からの所得制限を導入しようとしています。

「高校無償化」は高校生の学びを社会全体で支えるものです。これに対し、所得制限の導入は、授業料を納める生徒とそうでない生徒をつくることとなります。生徒の間に差をつけることは、日本政府が留保撤回した国際人権規約の趣旨にも反します。さらに、事務手続き上の負担も増大します。

憲法が定める教育の機会均等をすべての子どもたちに保障するため、「高校無償化」への所得制限導入をおこなわず制度拡充に向けてご尽力いただきますよう、要請します。

記

- 1、国は、「高校無償化」への所得制限を導入せず維持・拡充をすすめること
- 2、国は、高校生・大学生に対する「給付制奨学金」制度をつくること

以上

名 前

所属または住所

※「高校無償化」についてのお考えや思いを自由にお書きください

ハガキを11月7日(木)までに高教組本部へ
ご協力をお願いします！